

# あなたは大丈夫？

## 還付金詐欺

還付金詐欺は、まず市役所や社会保険事務所の担当者や名乗り「高齢者医療保障費や年金の還付金がありました。還付手続きをしますので、今すぐ銀行のATMコーナーへ行き、そこで電話をください」と誘導します。そして、ATMの前で再度電話をしたところ、「通話しながらいったん通帳の残高を入力して振り込みボタンを押すように」などと言葉巧みにATMを操作させます。そして還付金の入金手続きをしているように見せ掛け、実は犯人の口座へ振り込み手続きをさせてしまいます。

この手口は、「今すぐ手続きをしないと、還付期限が切れて無効になる」など、相談や考える猶予を与えずに、手続きをさせようとしています。しかし、市役所など公的機関から税金が還付される場合は、書面で指定した『皆さんの口座』に振り込まれるのが普通です。ATMを操作させて手続きをするとは通常考えられません。また、入金のみでしたら、キャッシュカードは不要なはず。

今月号から『うまい話に“ご用心”に替わり、引き続き消費生活に関するトラブル事例の紹介や注意を喚起する『あなたは大丈夫？』を掲載します。



指示通りに操作して

○**相手はだましのプロです**  
税金の還付だけでなく、電話料金の過払い分の返納など、さまざまな形態でだまそうとしてきます。

○**安易に信じてはいけない**  
高額の現金を相手の預金口座に振り込ませるものについては、言われるままに振り込んではいけません。電話を一度切り、関係機関に問い合わせましょう。

○**一人で悩まず相談を**  
自分だけはだまされないという自信が被害につながります。不審な電話があったときは、お金を振り込む前に身近な人や相談窓口にご相談しましょう。

▼**問い合わせ** 市民サービスグループ (☎ 3491)

人が輝き まちがとぎめく

## 仲間たち Group

### 登別小学校司書ボランティア



『登別小学校司書ボランティア』は、地域の保護者の力を借りて、図書室環境の充実を図ることで、子どもたちが図書に親しみ、読書に対する意欲を高めてもらおうと、昨年9月に発足されました。

現在、会員は7人。9月から翌年の3月までの7カ月間、月1・2回の10時から12時まで、図書室内の掲示物の作成や修復のほか、図書の整理や修復などの活動をしています。

「昨年から活動を始めたばかりで、まだ活動内容は手探り状態ですが、少しでも入りやすく、親しみやすい図書室にしていきたいです」と話すのは代表の秋元美紀さん。

取材当日は今年2回目の活動日で、柿などの秋をイメージした掲示物を作成していました。

手作りの掲示物で少しでも親しみやすい図書環境を作りたい



「今年は、会員による読み聞かせなども行っていきたいと思っています。そのほか、登別小学校の蔵書数は市内でも少ない方なので、今後は各家庭で使わなくなった本などを寄贈してもらい、蔵書数を増やしていきたいですね」と秋元さんは今後の活動について話してくれました。

昨年から会に参加している杉本博子さんは、「飾り付けをするようになって、子どもたちからは大変好評を得ています。保護者の方にももっと参加していただいで、活動の幅を広げていけたらいいですね。保護者同士の情報交換の場にもなりますし、できる範囲で気楽に参加してください」と入会を呼び掛けていました。

入会を希望される保護者の方は、登別小学校 (☎ 1014) までどうぞ。